

金沢市緑地等維持管理業務委託共通仕様書

【共通編】

【1】 目的

- (1) 金沢市緑地等維持管理業務委託共通仕様書（以下「共通仕様書」）は、金沢市が発注する公園維持管理業務委託（ブロック管理）及び街路樹維持管理業務委託（ブロック管理）、公園維持管理業務委託、公共施設緑地の維持管理業務委託に係る適正な履行の確保を図るためのものである。
- (2) 本共通仕様書以外の事項については、「石川県土木工事共通仕様書」、「土木部土木工事施工管理基準」、「金沢市植栽工事仕様書」、「金沢市都市樹木害虫防除事業薬剤散布作業マニュアル」により実施すること。

【2】 提出書類

- (1) 業務契約後、速やかに次の書類を提出すること。

①業務計画書

（記載内容） 業務概要、現場組織表、主要資材、現場作業環境の整備、安全管理、指定機械、施工方法、
施工管理計画、緊急時の体制及び対応、安全管理、環境対策、再生資源の利用の促進 等

②現場責任者選任届（様式－1）

③業務工程表（様式－2）

④使用材料確認願（様式－3）

⑤使用材料計算書（様式－4）

⑥委託業務下請人通知書（様式－5）

（下請金額の大小にかかわらず、下請業者がある場合、提出すること。）

- (2) 毎月、月間業務工程表（様式－6）を提出すること。

①月間業務工程表（翌月分の予定表） …… 月末締切

②月間業務工程表（当月分の実績表） …… 毎月月初めの5日締切

- (3) 中間支払い時及び委託完了時に、次の書類を提出すること。

①委託業務結果報告書（様式－8）

②業務写真

③請求書

④業務工程表（実績表・全体工程分）

【3】 中間検査

①監督員から指示のあった期日に業務中間検査を実施する。

②業務中間検査は、書類検査と実地検査とする。

・実地検査は、業務作業中の状況と業務完了箇所を確認する。

・書類検査は、実地検査実施日までに終了している業務について確認する。

【4】 業務箇所の確認と報告

①業務箇所及び業務内容に不明な点があった場合は、監督員と立会、業務箇所を明確にすること。

②業務箇所の状況（樹木の生育状況や施設の状況）を報告すること。

・月間業務工程表（様式－6）による定期報告。

- ・異常箇所報告書（様式ー7）による緊急報告。
- ③自然災害（台風や異常乾燥、積雪など）時に、監督員から指示があった場合、業務箇所の巡視を行い、樹木の生育状況や施設の状況を報告すること。
- ④業務中に市民から要望や苦情があった場合は、むやみに回答せず、市民の氏名・連絡先・要望内容を速やかに監督員に報告すること。
- ⑤業務中に事故や問題点が発生した場合は、速やかに監督員に報告すること。

【5】 安全管理

- ①業務中は、業務委託看板を掲示すること。

業 務 委 託 看 板

公園維持管理業務	街路樹維持管理業務
<p>委 託 名 : 公園維持管理業務委託 (〇〇ブロック)</p> <p>委 託 期 間 : 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで</p> <p>請負業者 : 業 者 名 現 場 責 任 者 連絡先 (会社の電話番号)</p> <p>発 注 者 : 金沢市都市整備局緑と花の課 連絡先 076-220-2356</p>	<p>委 託 名 : 街路樹維持管理業務委託 (〇〇ブロック)</p> <p>委 託 期 間 : 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで</p> <p>請負業者 : 業 者 名 現 場 責 任 者 連絡先 (会社の電話番号)</p> <p>発 注 者 : 金沢市都市整備局緑と花の課 連絡先 076-220-2356</p>

【公園編（公共施設緑地）】

公園維持管理業務委託は、利用者並びに地域住民が、安全で安心して、快適に公園等を利用出来る為に管理を行うものである。

【1】 除草清掃工

(1) 作業工程

- ① 3回／年の場合 …… 1回目は、5月10日から6月上旬（市祭前日）まで
2回目は、7月1日から7月20日まで
3回目は、9月1日から9月30日まで
- ② 4回／年の場合 …… 1回目は、5月10日から6月上旬（市祭前日）まで
2回目は、7月1日から7月20日まで
3回目は、9月1日から9月30日まで
4回目は、3月1日から3月20日まで
- ③ その他の場合 …… 作業時期は、監督員と協議の上、決定する。

※一部、中心部では、第1回目を4月下旬（黄金週間前）に実施する場合がある。

(2) 作業内容

- ① 機械除草及び刈払機除草の刈揃え高さは、2cm内外に行うこと。
- ② 人力除草は、除根すること。
- ③ 除草ゴミは、速やかに集積し、処理すること。
- ④ 公園内の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空缶や空ペットボトル）と落葉も清掃し、処分すること。
(※空缶や空ペットボトル、ビニル系ゴミは、袋に梱包し、指定場所に搬入して下さい。発注者（緑と花の課）がまとめて、廃棄します。)
- ⑤ 公園内の排水施設（U型側溝、L型側溝、集水桝等）に堆積している土砂及びゴミは、清掃し、処分すること。
- ⑥ 公園施設（樹木、支柱、構造物等）周辺は、人力除草を行うこと。
- ⑦ 高中木のやご・ひこばえも併せて除去すること。
- ⑧ 機械及び刈払機を使用する時は、小石等が飛散しないよう十分注意すること。

【2】 芝生管理工

(1) 作業工程

(i) 芝刈工

- ① 3回／年の場合 …… 1回目は、6月10日から6月30日まで
2回目は、8月1日から8月10日まで
3回目は、9月20日から9月30日まで
- ② その他の場合 …… 作業時期は、監督員と協議の上、決定する。

(ii) 人力除草工

- ・ 1回／年 …… 作業時期は、1回目の芝刈工と同じ

(iii) 施肥工

- ・ 1回／年 …… 作業時期は、1回目の芝刈工と同じ

(iv) 目土工

- ・ 1回／年 …… 作業時期は、3月15日から3月28日まで

(2) 作業内容

- ①芝刈り機の刈揃え高さは、3 cm 以内に行うこと。
- ②芝耳を構造物内側で切り揃えること。
- ③人力除草は、除根すること。
- ④芝刈りゴミや除草ゴミは、速やかに集積し、処理すること。
- ④公園内の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空缶や空ペットボトル）と落葉も清掃し、処分すること。
(※空缶や空ペットボトル、ビニル系ゴミは、袋に梱包し、指定場所に搬入して下さい。発注者（緑と花の課）がまとめて、廃棄します。)
- ⑤公園内の排水施設（U型側溝、L型側溝、集水桝等）に堆積している土砂及びゴミは、清掃し、処分すること。
- ⑥公園施設（樹木、支柱、構造物等）周辺は、人力で刈込を行うこと。
- ⑦芝刈り機を使用する時は、小石等が飛散しないよう十分注意すること。

【3】 樹木管理工（剪定工）

(1) 作業工程

- (i) 夏期剪定工
 - ・作業時期は、6月10日から9月20日まで
- (ii) 冬期剪定工
 - ・作業時期は、12月10日から3月20日まで
- (iii) 生垣刈込工
 - ・作業時期は、6月10日から7月20日まで

(2) 作業内容

- ①樹形、樹姿の美観と調和に留意すること。
- ②樹木の良い生理状態を把握し作業を行うこと。
- ③作業着手に監督員の立会を求め、指示を受けること。
- ④剪定枝が公園利用者に落下しないよう、十分留意すること。
- ⑤隣接境界を越境した枝は、除去すること。
- ⑥剪定高さや刈込高さは、監督員と協議すること。

【4】 樹木管理工（雪吊工）

(1) 作業工程

- (i) 雪吊り取付け
 - ・作業時期は、11月10日頃（監督員の指示後）から12月10日まで
- (ii) 雪吊り取外し
 - ・作業時期は、3月10日頃（監督員の指示後）から3月20日まで

(2) 作業内容

- ①積雪による樹木の折損、倒伏、傾斜等の被害防止を図るため、樹形を把握し作業を行うこと。
- ②補充用真竹（購入材）は、全体必要量の半分（5割）とする。
- ③補充用真竹（購入材）の使用材料確認願ならびに使用材料数量根拠書を作成し、監督員に数量を確認すること。

- ③新規受託者は、前受託者より雪吊り用資材（真竹等）を引継ぐこと。
- ④パール（鉄棒等）などで、事前に打込孔をあけ、支柱材（真竹）を打込むこと。

【5】 樹木管理工（施肥工・薬剤散布工）

（1）作業工程

（i）施肥工

- ・作業時期は、対象樹木の性質と施す肥料の種類に応じ、監督員と協議すること。

（ii）薬剤散布工

- ・作業時期は、対象樹木の性質と散布する薬剤の種類に応じ、監督員と協議すること。

（2）作業内容

- ①樹木の生育促進と病虫害防除を計るため、樹木の生理状況を観察し作業を行うこと。
- ②対象樹木や植栽帯以外に、飛散・散乱しないよう作業を行うこと。
- ③設計書に定められた肥料や薬剤を使用すること。

【6】 花壇管理工

（1）作業工程

（i）草花植付工

- ・4回／年 …… 6月、9月、12月、3月を標準とする。作業時期は、監督員と協議の上、決定すること。

（ii）人力除草工

- ・作業時期は、監督員と協議すること。

（iii）灌水工

- ・作業時期は、監督員と協議すること。

（iv）花柄摘み工

- ・作業時期は、監督員と協議すること。

（2）作業内容

- ①花壇に使用する草花（苗）の数量と植付計画図を提出し、監督員の承認を得ること。
- ②植付前には十分に地拵え（前季の花苗撤去含む）を行い、土壌の状況を確認し、必要に応じ、土壌改良を行うこと。
- ③植付後、花苗の状況を観察し、生育促進と病虫害防除を図るため、花柄摘みを行うこと。作業は、監督員の承認を得ること。
- ④植床（土壌）の状況に応じ、灌水を行うこと。作業は、草花を損傷させないように留意して行うこと。

【7】 安全管理

- ・業務中は、利用者の安全と作業効率向上の為、出入り口に業務委託看板（1箇所）と作業表示板（必要箇所）を掲示し、作業範囲内に利用者が立ち入らないよう十分な安全管理を行うこと。
- ・小規模な公園の場合、公園全体を一時閉鎖してもよい。
- ・公園内行為許可申請による公園利用があるので、予約状況を確認すること。
- ・業務内容に関わらず、ヘルメットを着用すること。また、状況に応じ、安全ベストを着用すること。
- また、高所作業（剪定工）の場合は、必ず、命綱を着用すること。

作業表示板

公園利用者の皆様へ お願い

現在、公園維持管理業務の作業（除草・樹木剪定・芝刈り等）を行っています。

公園利用者の皆様には、大変危険ですので、作業範囲内に立ち入らないようご協力をお願いします。

請負業者：業 者 名

発注者：金沢市緑と花の課
連絡先 076-220-2356

【8】 写真管理

- ①作業前と作業後は、できる限り広範囲（全景的）に撮影すること。
- ②撮影場所と撮影時間帯は統一し、対象物の背景には目印となる施設（看板・建物・構造物等）を入れること。
- ③業務看板を用い、作業内容が判別できるよう撮影すること。
（記載事項：委託名、作業箇所名、作業名、回数等）
- ④撮影項目は、別表（公園維持管理作業別写真撮影表）の通りとする。

【街路樹編】

街路樹維持管理業務委託は、街路樹の美観、機能の維持、形状寸法の調整等により、通行人や通過車両並びに地域住民への安全性の確保を図るとともに、街路樹の健全な生育を目的に行うものである。

【1】 除草清掃工

(1) 作業工程

- ① 3回／年の場合 …… 1回目は、5月10日から6月上旬（市祭前日）まで
2回目は、7月1日から7月20日まで
3回目は、9月1日から9月30日まで
- ② 4回／年の場合 …… 1回目は、5月10日から6月上旬（市祭前日）まで
2回目は、7月1日から7月20日まで
3回目は、9月1日から9月30日まで
4回目は、3月1日から3月20日まで
- ③ その他の場合 …… 作業時期は、監督員と協議の上、決定する。

※一部、中心部の路線では、第1回目を4月下旬（黄金週間前）に実施する場合がある。

(2) 作業内容

- ① 植栽帯並びに植栽樹は人力での除草であり、必ず除根（伐根）すること。
- ② 中央分離帯は、刈払機での除草であり、刈り揃え高さを2cm以内とすること。
- ③ 中央分離帯並びに街園の一部に芝地がある場合、芝刈り機の刈揃え高さは、3cm以内に行い、芝耳を構造物内側で切り揃えること。
- ④ 中央分離帯の樹木・支柱・構造物等の周辺は、人力除草を行うこと。
- ⑤ 機械及び刈払機を使用する時は、小石等が飛散しないよう十分注意すること。
- ⑥ 除草ゴミは、速やかに集積し、処理すること。
- ⑦ 植栽地内（植栽帯・植栽樹・中央分離帯）の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空缶や空ペットボトル）と落葉も清掃し、処分すること。
(※空缶や空ペットボトル、ビニル系ゴミは、袋に梱包し、指定場所に搬入して下さい。発注者（緑と花の課）がまとめて、廃棄します。)
- ⑧ 街園内の排水施設（U型側溝、L型側溝、集水樹等）に堆積している土砂及びゴミは、清掃し、処分すること。
- ⑨ 高中木のやご・ひこばえも併せて除去すること。

【2】 樹木管理工（剪定工）

(1) 作業工程

(i) 夏期剪定工

- ・ 作業時期は、6月10日から9月20日まで

(ii) 冬期剪定工

- ・ 作業時期は、12月10日から3月20日まで

(iii) 不要下枝等除去

- ・ 作業時期は、夏期剪定工と同じ

(iv) 低木・生垣刈込工

① ツツジ類

- ・ 5月下旬から6月下旬（花芽分化期に注意し、花期終了後とする。)

②ツバキ、ツゲ類

- ・ 5月中旬から6月中旬

③アベリア

- ・ 3回／年を標準とし、除草清掃工（3回／年）と同じとする。
- ・ これ以外の場合の作業時期は、監督員と協議し決定すること。

④その他低木

- ・ 作業時期は、監督員と協議し決定すること。

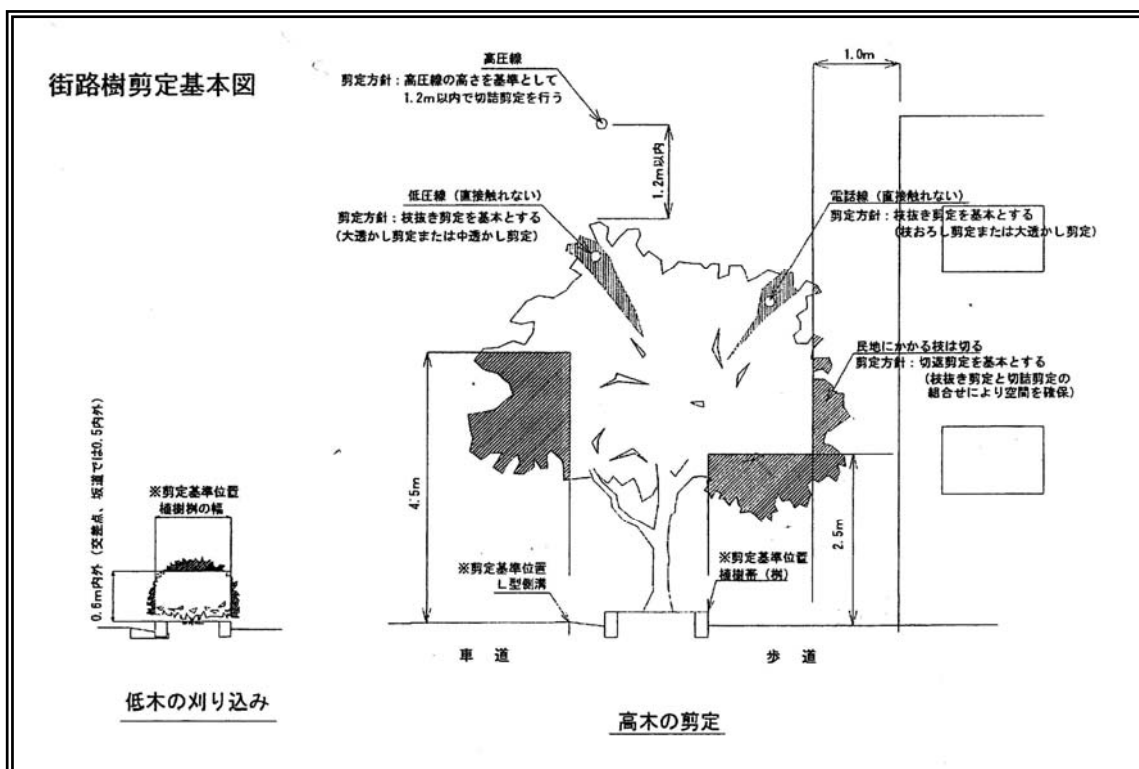
⑤その他中木（生垣共）

- ・ 作業時期は、夏期剪定工と同じ。

(2) 作業内容

- ①樹形、樹姿の美観と調和に留意すること。
- ②樹木の良好な生理状態を把握し作業を行うこと。
- ③作業着手に監督員の立会を求め、指示を受けること。
- ④剪定枝が通行人や通過車両に落下しないよう、十分留意すること。
- ⑤隣接境界を越境した枝は、除去すること。
- ⑥剪定高さや刈込高さは、別図（街路樹剪定基本図）の通りとする。

特に高木の場合、建築限界線（車道側は、車道舗装面から4.5m。歩道側は、歩道舗装面から2.5m。）に注意すること。



- ⑦防犯灯や道路照明灯、交通標識等の安全施設に支障となる枝は、除去すること。

【4】 樹木管理工（雪吊工）

(1) 作業工程

(i) 雪吊り取付け

- ・ 作業時期は、11月10日頃（監督員の指示後）から12月10日まで

(ii) 雪吊り取外し

- ・ 作業時期は、3月10日頃（監督員の指示後）から3月20日まで

(2) 作業内容

- ①積雪による樹木の折損、倒伏、傾斜等の被害防止を図るため、樹形を把握し作業を行うこと。
- ②補充用真竹（購入材）は、全体必要量の半分（5割）とする。
- ③新規受託者は、前受託者より雪吊り用資材（真竹等）を引継ぐこと。
- ④パール（鉄棒等）などで、事前に打込孔をあけ、支柱材（真竹）を打込むこと。
- ⑤構造物（特に占用看板等）に縄を結束しないこと。

【5】 樹木管理工（施肥工・薬剤散布工・灌水工）

(1) 作業工程

(i) 施肥工

- ・作業時期は、対象樹木の性質と施す肥料の種類に応じ、監督員と協議すること。

(ii) 薬剤散布工

- ・作業時期は、対象樹木の性質と散布する薬剤の種類に応じ、監督員と協議すること。

(iii) 灌水工

- ・作業時期は、監督員と協議すること。

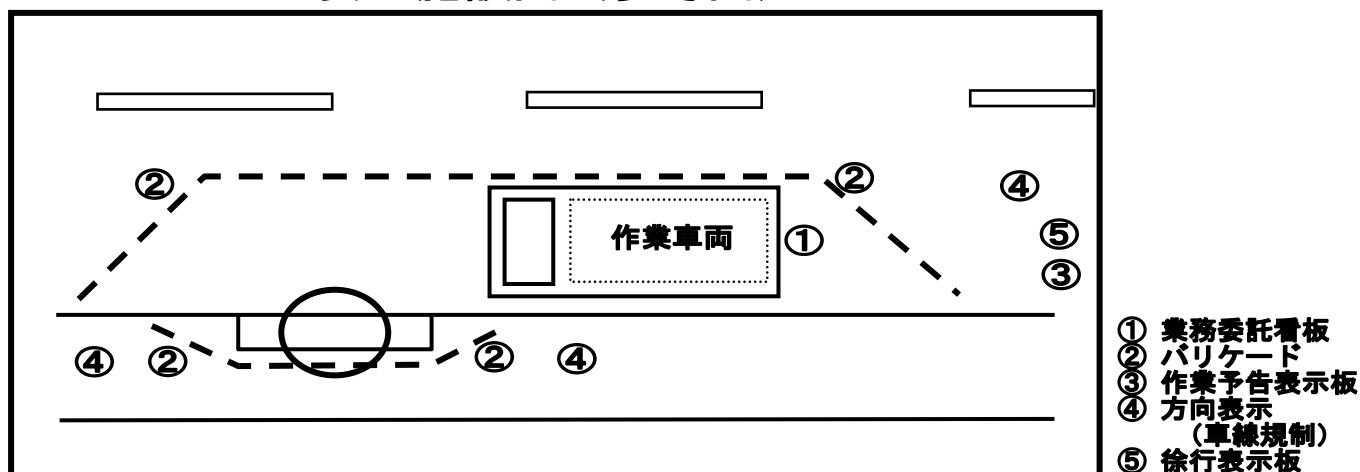
(2) 作業内容

- ①樹木の生育促進と病虫害防除を計るため、樹木の生理状況を観察し作業を行うこと。
- ②対象樹木や植栽帯以外に、飛散・散乱しないよう作業を行うこと。
- ③設計書に定められた肥料や薬剤を使用すること。

【6】 安全管理

- ・業務中は、所轄の警察署による『道路工事又は作業に関する協議について 応諾書』を常に携帯すること。
- ・業務中は、通行人や通過車両の安全と作業効率向上の為、業務委託看板（1箇所）や作業予告表示板（必要箇所）、車線規制の方向表示板・徐行表示板を掲示し、作業範囲をバリケードで囲うなど、十分な安全管理を行うこと。
- ・業務内容に関わらず、ヘルメット・安全ベストを着用すること。
また、高所作業（剪定工）の場合は、必ず、命綱を着用すること。

安全施設図（参考図）



【7】 写真管理

- ①作業前と作業後は、できる限り広範囲（全景的）に撮影すること。
- ②撮影場所と撮影時間帯は統一し、対象物の背景には目印となる施設（看板・建物・構造物等）を入れること。
- ③業務看板を用い、作業内容が判別できるよう撮影すること。
（記載事項：委託名、作業箇所名、作業名、回数 等）
- ④撮影項目は、別表（街路樹維持管理作業別写真撮影表）の通りとする。

公園維持管理作業別写真撮影表

作業工種名	作業前	作業中	作業後	使用材料	備考
	1公園当り			1業務当り	
除草清掃工	○	※1	○		・作業中は、全ての工程
清掃工	○	○	○		
芝生管理工					
・芝刈工	○	○	○		
・人力除草工		○			
・施肥工		○		○	・材料は、使用後の空袋写真も
・目土工	○	○	○	○	
剪定工					
・夏期剪定工	○	○	○		
・冬期剪定工	○	○	○		
・生垣刈込工	○	○	○		
雪吊工					
・取付け工	○	○	○	○	
・取外し工	○	○	○		
施肥工		○		○	・材料は、使用後の空袋写真も
薬剤散布工		○		○	・材料は、使用後の空袋写真も
花壇工					
・草花植付工	○	○	○	○	
・人力除草工		○			
・灌水工		○			
・花柄摘み工	○	○	○		
安全管理	○ (写真提出毎)				・業務委託看板掲示状況 ・作業表示板掲示状況

※1) 5公園以上の工程（機械・刈払機・人力）写真を撮影すること。
1回目、2回目、3回目は極力異なった公園を選択すること。

街路樹維持管理作業別写真撮影表

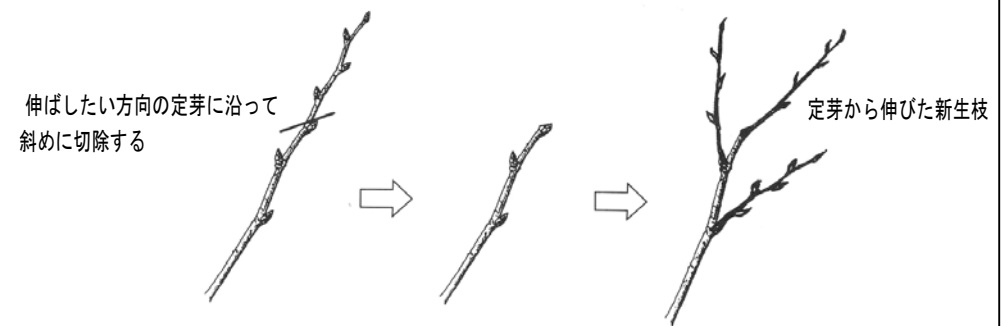
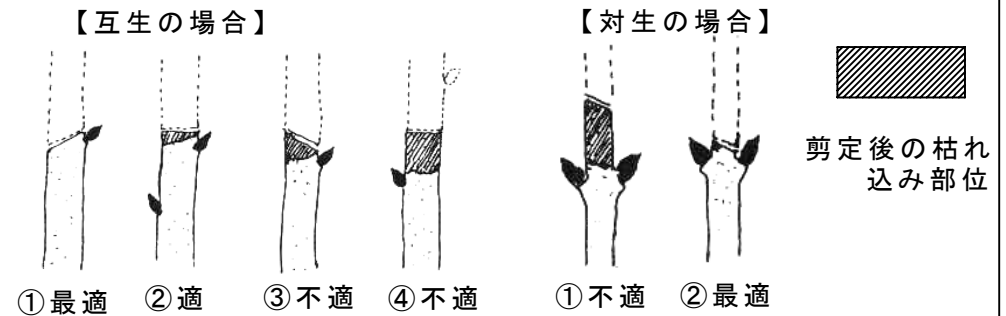
作業工種名	作業前	作業中	作業後	使用材料	備考
	1路線(街園)当り			1業務当り	
除草清掃工	○	※2	○		・主要交差点毎に1路線とする ・作業中は、全ての工程
剪定工					
・夏期剪定工	○	○	○		
・冬期剪定工	○	○	○		
・不要下枝除去	○	○	○		
・生垣低木刈込工	○	○	○		
雪吊工					
・取付け工	○	○	○	○	
・取外し工	○	○	○		
施肥工		○		○	・材料は、使用後の空袋写真も
薬剤散布工		○		○	・材料は、使用後の空袋写真も
灌水工		○			
安全管理	○ (写真提出毎)				・業務委託看板掲示状況 ・安全施設状況

※2) 5路線(街園)以上の工程（機械・刈払機・人力）写真を撮影すること。
1回目、2回目、3回目は極力異なった路線(街園)を選択すること。

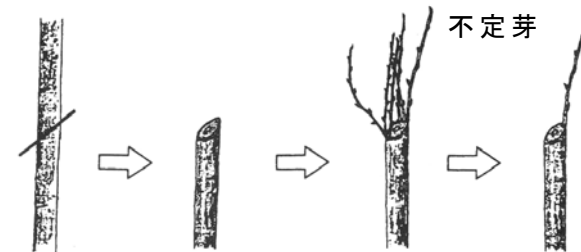
剪定の管理目標と手法（1）

1. 街路（公園）樹の管理目標とする樹形のタイプ
切返剪定により樹木本来の自然樹形に近づける維持管理とする。
2. 剪定の手法
剪定は枝抜き剪定と切詰剪定の組合せによる「切返剪定」を基本とする。
 - （1）枝抜き剪定
主枝（一番枝）から先を切り透かす「大透かし剪定」と副主枝（二番枝）から先を切り透かす「中透かし剪定」の組合せを標準とする
 - （2）切詰剪定
 - ・側枝（三番枝）の先端を切り揃える「刈込剪定」も切詰剪定に含まれる
 - ・本年生枝や前年生枝の若い枝で、定芽のはっきりしている枝を切り詰める際には、新たな枝を伸ばしたい方向の定芽の直上部で斜めに切除する
 - ・副主枝より太い枝には一般的に定芽がない。再生する枝のバランスをみて切り口を内側に向けた斜めに切り、ぶつ切りの印象を与えないようにする。新しい萌芽は、切り口周辺にある不定芽から不規則に伸びてくるため、必ず翌年には伸ばしたい方向の枝を残して他の枝を整理する
 - ・コブがある場合は直下で切除し、不定芽からの萌芽枝を整理する管理を行う。（図-③参照）
 - ・切り詰める枝が主枝や幹に及ぶ場合、切り口の直径が3 cm以上を目安に樹木用等の防腐剤の塗装を原則とする。

① 定芽がある若い枝の切り詰め



② 定芽のない古い枝の切り詰め

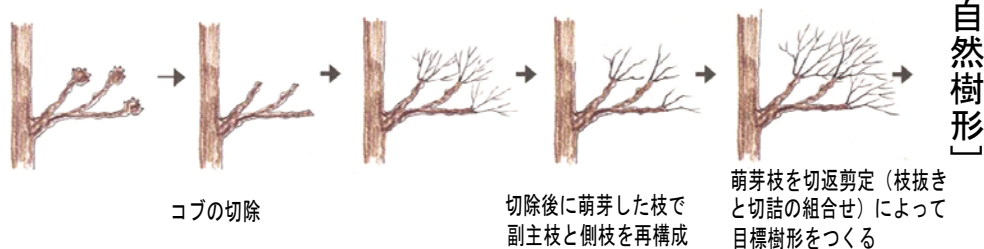


剪定の管理目標と手法（2）

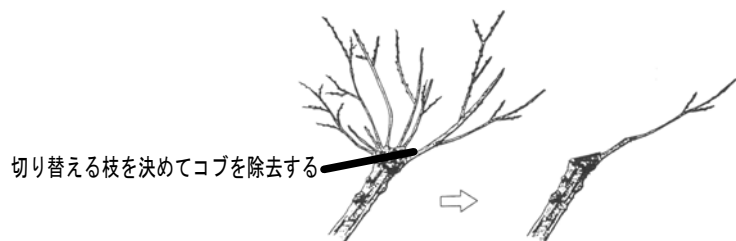
③ コブのついた樹木の剪定

（管理目標樹形）自然樹形

【コブの全部を切除する場合】

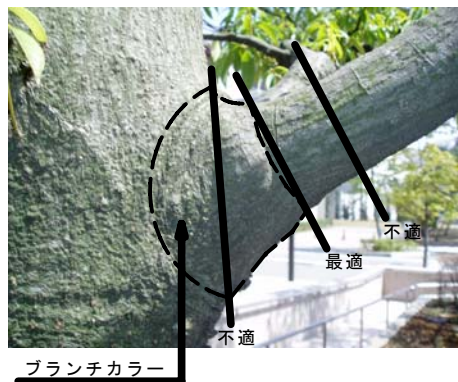


【コブの一部を切除する場合】



④ 適切な枝おろし剪定

適切な切断位置



枝おろしをする場合、枝の組織と幹の組織が混じり合うブランチカラーを傷つけないよう注意すること。

⑤ 参考資料

切除の対象となる不要枝

枝の呼び方		内 容
生理面からの枝	徒長枝	本年生枝、前年生枝の中で他の普通の枝より異常に長く伸びる枝
	土用枝	夏以降に伸びた枝。徒長枝になりやすい。
	ひこばえ	根元または根元に近い根から発生する小枝
	胴吹き枝	樹木の衰弱が原因で、幹から発生する小枝
	枯れ枝	
形態面からの枝	からみ枝	一本の枝が他の主な枝に絡みついたような形になって発生する枝
	さかさ枝	樹木固有の性質に逆らって、下方や樹冠内方に伸びる枝
	ふところ枝	主な枝の比較的内側にある弱小さな枝
	平行枝	同じ方向に伸びる上下二つの枝
	立 枝	幹に平行して立ち上がって上に伸びる枝

